

# 特別会計予算の概要

予算額 3,636億円 (前年度比0.5%増)

## 土地区画整理会計

予算額 3 億円

- 土地区画整理事業における地権者への交付清算金の減等により、前年度比50.9%の減となります。

## 駐車場会計

予算額 1 億円

- 減債基金積立の増により、前年度比 7.2%の増となります。

## 母子父子寡婦福祉資金貸付会計

予算額 2 億円

- 公債償還費の増により、前年度比31.1%の増となります。

## 国民健康保険会計

予算額1,853億円

- 被保険者数の減少により、前年度比 0.5%の減となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金144億円など、総額205億円の繰入を受けます。

## 後期高齢者医療会計

予算額264億円

- 後期高齢者被保険者数の増に伴う北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増等により、前年度比 0.9%の増となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金48億円など、総額62億円の繰入を受けます。

## 介護保険会計

予算額1,491億円

- 居宅や施設の介護保険サービス利用者の増加に伴う保険給付費の増等により、前年度比 2.0%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分など、総額234億円の繰入を受けます。

## 基金会計

予算額22億円

- 基金の預金等利子と財産貸付収入により、前年度比 2.4%の減となります。

# 企業会計予算の概要 予算額 2,653億円 (前年度比1.6%増)

## 病院事業会計

予算額 276億円  
(前年度比1.5%増)

### 安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、高度医療機器の更新・整備を行います。

また、経年劣化に伴う施設の更新を計画的に進めます。

### 経営健全化に向けた取組

市立札幌病院としての役割を果たすため、新入院患者の受入強化や、委託費などの経費削減に取組み、将来にわたって持続可能な経営基盤を確立し、より健全かつ効率的な病院経営を目指します。

収益的収入	242億円
収益的支出	239億円
差引	3億円
未処理欠損金	97億円

## 中央卸売市場事業会計

予算額 42億円  
(前年度比0.5%増)

### 安全で安心な生鮮食料品の供給

安全で安心な生鮮食料品の安定供給を堅持していくとともに、中央拠点市場としての機能強化のため、老朽化した場内の設備機器類の更新を行います。

### 健全経営に向けた取組

今後とも、老朽化施設の更新など、経費の増加が見込まれる厳しい経営環境の中で、健全な事業運営を継続するため、計画的・効率的な事業執行により、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

収益的収入	22億円
収益的支出	24億円
差引 ▲	2億円
未処理欠損金	46億円

## 軌道事業会計

予算額 40億円  
(前年度比0.3%減)

### 安全の確保

安全運行の確保のため、計画的な軌道施設の更新を進めます。

### 快適なお客さまサービスの提供

街路拡幅事業に合わせて、レールの制振軌道化など既設線の再整備を進めます。

### まちづくりへの貢献

電力設備の増強や車両基地の改良を進めるとともに、低床車両の製造、停留場の改良等を進め、全ての人が利用しやすい路面電車を目指します。

収益的収入	20.5億円
収益的支出	22.3億円
差引 ▲	1.8億円
未処理欠損金	6.5億円

## 高速電車事業会計

予算額 788億円  
(前年度比5.2%増)

### 安全の確保

老朽化した施設の改修として、各駅のエレベーター・エスカレーターの更新等を進めます。

また、防災対策として、南北線高架駅の耐震改修工事、高架部ポイントボックスの耐震改修を進めます。

### 快適なお客さまサービスの提供

お客さまの利便性向上のため、一般旅客用トイレの洋式化や温水洗浄便座の設置等の改良を行います。

### まちづくりへの貢献

札幌市を訪れる多くの外国人旅行者客に対応するため、施設や車両の案内表示等を多言語表記に改修します。

収益的収入	508億円
収益的支出	424億円
差引	84億円
未処理欠損金	2,114億円

## 水道事業会計

予算額 623億円  
(前年度比4.0%減)

### 安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、経年劣化した施設や配水管の更新などを計画的に行います。

また、災害対策として、水道施設の耐震化や送水管の多重化、災害時重要施設（医療機関、基幹避難所）へ向かう配水管の耐震化などの事業を進めます。

### 健全経営の維持に向けた取組

経年劣化した施設等の更新のほか、災害に備えた耐震化事業の推進などにより、今後も建設改良に係る経費は高い水準で推移することが見込まれることから、健全経営の維持に向け、必要な財源の確保に努めながら、施設規模の見直しや延命化などの経費節減に取り組みます。

収益的収入	458億円
収益的支出	368億円
差引	89億円
未処理欠損金	なし

## 下水道事業会計

予算額 883億円  
(前年度比2.8%増)

### 安全で安心な市民生活の維持

下水道機能の維持向上のため、適切な維持管理と、今後急増する老朽施設の計画的な改築を進めます。

また、災害に強い下水道の実現のため、雨水拡充管の整備などの浸水対策や、下水道施設の耐震化を進めます。

### 環境に与える負荷の低減

水環境を保全するため、合流式下水道の改善を図ります。また、循環型社会への貢献のため、下水道エネルギーの有効利用を進めます。

### 健全で持続可能な経営

計画的で安定的に事業運営を進めるため、経営効率化や人材育成に取組み、健全で持続可能な経営に努めます。

収益的収入	529億円
収益的支出	507億円
差引	22億円
未処理欠損金	なし

